



たんぽぽ

我如古 イチロー

長田事務所ニュース
那覇市長田2-3-17丸正荘1F・853-6180

2010年度
2・3月議会

市民生活を守る予算に

読者
普天間基地は無条件閉鎖・撤去こそ県民世論



2月議会代表質問を行う我如古イチロー市議

賛成討論の要旨
を報告します。

予算組み替え動議を提出

2010年度の予算には、市営住宅の建て替えや新都心地域に新設する小学校用地取得事業、急増する生活保護に対応する予算なども含まれており、わたしたちはこれらの取り組みに対する予算については反対をするものではありません。しかしながら、全体として不況から市民の家計を温め、切実な市民の要求を実現する予算編成になっておらず、反対をするものです。

今年度の予算案は、昨年の総選挙で、国民が自公政権を退場させ、新政権が発足した下で、初めて編成されたものであります。それだけに予算案をめぐっては「政治を変えたい」という市民の願いにこたえ、これまでの政治から、どう転換していくかが、するどく問われています。

しかしながら新年度予算案は、進行している経済危機や雇用危機に対応し、市民にくらしを守る展望を示す予算編成になっておりません。いま那覇市民の生活はどれくらい厳しいものでしょうか。

普天間基地は無条件閉鎖・撤去こそ県民世論

国民年金平均受給額は5万3千円、国民年金納付率は約4割で、将来的に無年金予備軍は2万人以上といわれています。生活保護世帯は6552世帯、就学援助受給者は全児童の2割を超え、生活保護率は30・72%と毎年上がり続けています。

自殺者は県内で406人、失業率は6・8%、正規雇用率は全労働者数の実に40%で、4万8400人が安定した仕事に就くことができません。

市民の約50%が加入している、国民健康保険税はどうでしょうか。加入世帯の平均所得は、92万5千円しかありません。例えば所得300万円の夫婦と子ども2人の4人世帯で見ると、保険税は41万8千円です。市民の生活がこれほど苦しい中、公共事業でもない、民間企業が行う「モノレール旭橋駅周辺再開発事業」への2億4000万円もの補助金は中止すべきです。

次に基金の問題です。新年度予算もその基金を取り崩して編成されていますが、那覇市はこの間、財政が破綻する、大変だといって、市民の暮らしや、福祉、子供たちの教育の予算をどんどん削減してきました。その結果、毎年のように莫大な決算剰余金を生み出し、その剰余金はいわゆる、財政調整基金や減債基金にどんどんため込んできています。

平成12年度の財政調整基金と減債基金の合計は16億7000万円でしたが、21年度末の残高見込みは、54億9000万円にも達し、10年前に比べて38億円も増やしています。今こそ、経済危機を乗り切ることや、暮らしや福祉を守るために、

那覇市の、ため込んできた基金を大幅に取り崩し、市民の暮らし・福祉・教育、そして緊急雇用・経済対策にこそ重点的に予算をあてるべきです。市民の福祉・教育のための事業費、例えば父母の要望が強い小学校プール安全管理補助員の事業復活はわずか700万円です。

認可保育園の運営費や施設整備補助金を復活し、待機児童の解消に本腰を入れること。父母運営の学童クラブの家賃を全額補助すること。そして不況による観光産業と市経済の悪化に鑑み、市独自の緊急雇用創出事業、例えば「住宅リフォーム助成」で、市内の零細企業が受注できる仕事を増やすこと、などに組み替えるよう求めます。

後発医薬品で2億円の削減効果

国保財政における薬剤の占める比率と金額は幾らでしょうか。後発医薬品の比率が30%になると、その節約効果はいくらになるでしょうか。ジェネリック医薬品希望カードを国保加入世帯に配っていますが、どのような効果が見込めるのか。

部長答弁 「国保財政における薬の占める比率と金額については、調剤費ベースで約13・7%約36億万円となっております。

次に、後発医薬品の比率が30%になった場合の想定される削減効果ですが、新薬と後発医薬品との平均的な価格差を3割程度と仮定した場合、調剤費の保険者負担分について試算すると、約2億円の削減効果が算出されます。」

学童保育の支援について

部長答弁 「特に家賃補助につきましては、今後課題でありますので、こういう状況を踏まえながら、学校の推進状況を見ながら対応していきたいというふうに考えております。」

個人質問の報告です

フードバンクについて

フードバンクって何？ また、耳新しい言葉です。沖縄でも2年前から活動を始めたNPO団体で、まだ食べられる食品だけ、流通から外れて廃棄される予定のものを企業から提供してもらい、それを生活困窮者（世帯）に提供しているボランティア団体です。

那覇市民が、どれだけこの団体のお世話になっているか。との質問に、73世帯103名、ホームレス7名との答弁に驚きました。今まで、生活保護の相談に来る市民には、後1ヶ月どうやって暮らすかと明日からの食料をどう手配するかが悩みの種だったのに、それを一定程度解決してくれる団体です。「那覇市として、この団体の要請に応じて、お米1合寄付運動に協力してはどうか」と提案しました。主食であるお米が一番提供が少なく、需要に応えられず困っているそうです。

市役所の職員3000人が、1回100人でも協力するだけで、100合のお米。1合180gとして、18kgのお米を集めることができます。市民の皆さんも協力を。

不要入れ歯リサイクルの現状と更なる支援を質問しました。私が提案し、08年の12月に設置された、不要入れ歯のリサイクルボックス。回収された、入れ歯が金属精製業者に委託され、その結果を質問しました。

不要入れ歯のリサイクルの現状は？

設置後わずか3ヶ月の数字ですが、結果は42個の協力があり、その金属精製過程から、金が17・4g約4万円相当、取れています。1万6960円がユニセフに、同じ金額が社協に寄付されています。

数字としては小さいですが、しかし、この小さな善意が必要だということ、市民に訴えたいと思う。市民の小さな善意が、世界の子どもの命を救う大きな力になっています。市民の皆さんが関心を持つような取り組みをすれば、もっと集まると思います。

ボックスは市役所や各支所・老人センターに置かれています。毎年、市民の友やゴミの分別収集チラシなどに、不要入れ歯のリサイクルを啓発し、市としてバックアップをしていただきたい。環境部長は、ゴミ分別チラシに載せる事を約束しました。



那覇バス(14)番線が新規運行

繁多川の皆さん

昨年9月に市民アンケートの声を議会で質問しました。

公務員のワーキングプア改善を！

非正規職員のうち、質問した幼稚園・保育士などの職種は、すべて、地方公務員法に基づく、「一時的・臨時的・補助的業務」なのか

そもそも地方公務員法は「恒常的・基幹的業務に非常勤職員を従事させることを想定されていません。ほとんどが定数削減の中で必要な人員で、一時的・臨時的・補助的な業務ではないと思います。なのに、何年勤めても昇給はなく、10年目の人も1年目の人も同じ賃金です。これが劣悪な労働条件といわなくて、なんと云うのでしょうか。

学校給食調理現場における、非正規職員は98人おり、本務職員84人に対して、定数の半数以上が非正規職員で運営されています。仕事をすると時間が毎日、1時間45分短いだけで、年収は平均113万円。本務職員の平均470万円の4分の1の収入しかない。非正規雇用というだけで生活保護基準以下の給料で、よいのでしょうか。仕事は正規職員と何一つ変わりません。暮らしていけないのは当たり前です。

母子世帯の女性はこう訴えています。「市は、この条件でなければ契約しない。生活できなければ、他に仕事をすれば良いといわれる。仕事に誇りを持っていて、やりがいを感じているのに、年収は少なく他に仕事を掛け持ちしなければ、生活ができません、子どもとの団欒も持てない、体を壊すほど働いた。それなのに、今度は雇い止めされる。市役所の仕事でこんなワーキングプアがあっているのか。

強く改善を求めました。



那覇バスが、第一交通に変わるとともに、営業所が三重城から、新川に移転し、バス路線が大幅に変わったのは、約9年前だったのだろうか。その影響で、一つの大きな問題がでてきた。それは、今までは職名から来るバスは真地十字路で繁多川へ曲がり牧志方面に。繁多川から来るバスは職名大まがり、開南方面へといけた。しかし、新川営業所が発着の起点となったために、それぞれのバスは、真地十字路から営業所に向かうようになってしまう。繁多川や職名の住民が牧志や開南に直接向かうバスがないという不便さが、発生してしまいました。

昨年の市議選における市民アンケートにこの問題を指摘し、改善を求める声がありましたので、私は、すく09年9月議会、個人質問で取り上げ要求いたしました。3月23日から、新しく14番系統の路線が開通しました。繁多川方面から開南を結ぶ、今までの不便を解消する路線です。職名や上間の皆さんの不便さは残りますが、大きな前進だと思います。改善できるものは正直いつか自信はありますが、やはり市民の切実な声は、社会を変える力があると、改めて実感しました。